



リサイクル分取HPLC
LaboACE LC-5060

JAIGEL-HRシリーズによるサンプルの吸着トラブル対応 カラムの洗浄方法について

Keyword:

JAIGEL-HRシリーズ、サイズ排除分離、カラム洗浄

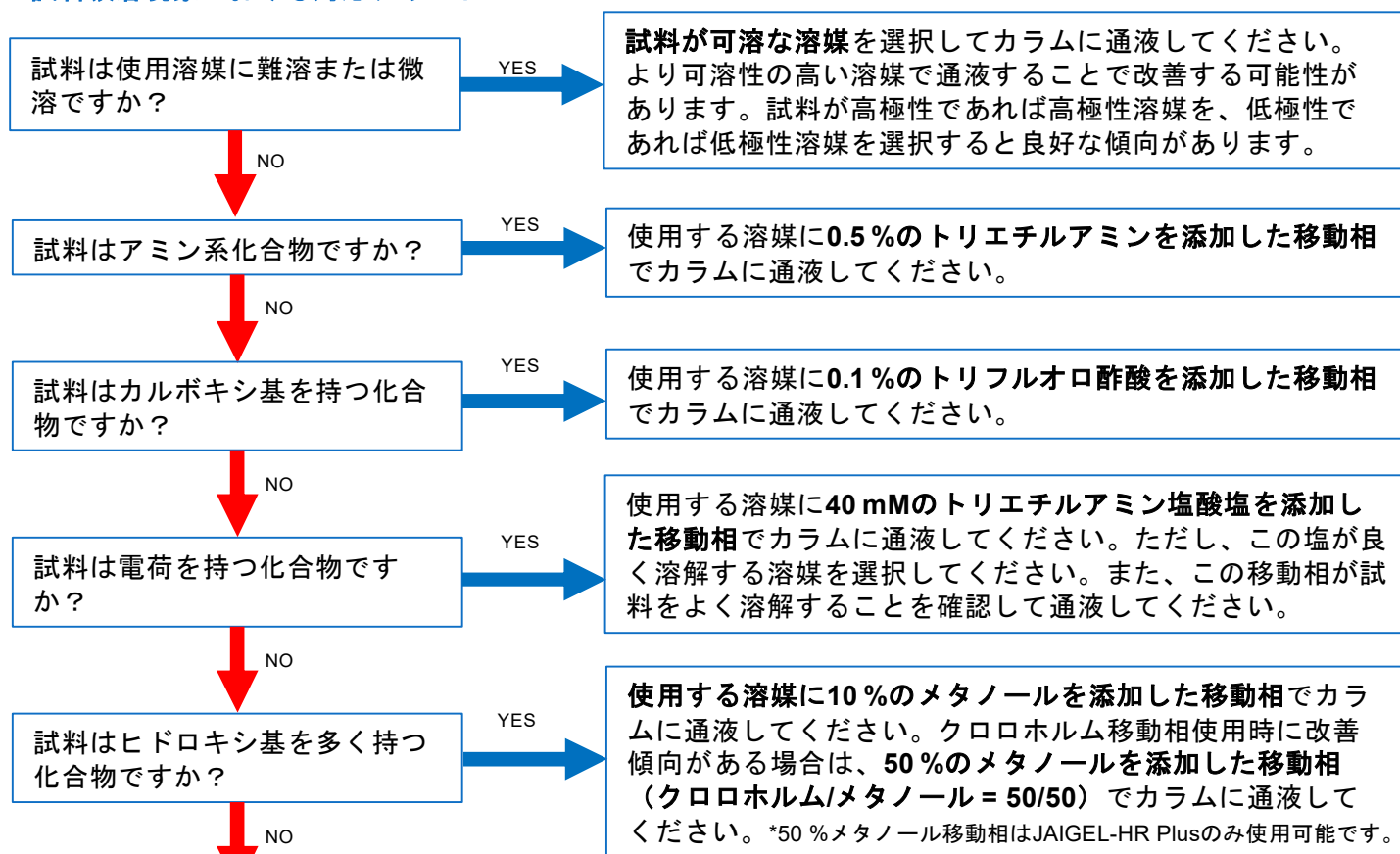
緒言

有機溶媒系 GPC カラムを用いた分離分取の場合、基本的にはゲルと試料との間の相互作用がないことから、カラムへの吸着がないことが一般的に知られている。

しかしながら、試料によってはサイズ排除効果以外の作用が働くことがあり、その場合は圧力の上昇やピークが検出されない、ピークのテーリング現象、ベースラインまで戻らないなどのトラブルが発生する。

その際の対処方法について下記に示す。ただしカラムはJAIGEL-HRシリーズを対象とする。

試料吸着現象における対応チャート



カラム洗浄が困難である場合があります。
(カラムのエンドフィッティング部分にゴミや固形物があり、洗浄できない等の原因が考えられます。)

- * この操作を行う際は、ラインフィルター及びプレカラムを外した状態で行ってください。
- * 使用する溶媒は溶媒置換可能な溶媒種を選択し、カラムへの通液は3.5 mL/minで約120分行ってください。
- * 試料の詳細が不明な時は、チャートの上からの操作をお試しください。
- * カラムの性能確認は出荷時に付属されていますテストレポートを参照ください。